

夏瀬の森

だより

令和五年八月二十五日 第一〇〇号
 田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

**四年振りです 七月十日
 夏祭宵宮花火大会**

大勢の方にお世話になりました。迷惑も多かった。諸条件が大変だった。四年振りの開催。コロナ禍の間に消費税や火薬価格が高騰し、以前のような花火を上げることができなかつた。大勢の子どもたちが、小さな手を優しく引いた。方々の、本當に楽しそうに柔らかな笑顔を拝見すると、このお祭りを大切にしていかなければならぬ。改めて思いました。氏子様だけの力から誇ることの夏祭りができる田殿地区。大勢の方に小さい頃を思い出していただき、入学も翌朝学校で楽しさの交換会をする。觀光地の何千何万発の花火大会には、足元にも及びませんが、地域の雰囲気がたぐさって、いる姿に心地よさを感ぜました。翌朝は神前式を執り行い、日々の感謝とともに、災害や病虫被害も少なく、健康で幸せに



健康で幸せに、災害や病虫被害も少なく、健康で幸せに

過ごすことが出来るようにとのご祈禱をいたしました。
輪越大被式 お抹茶も



七月三十一日輪越大被式を執り行いました。皆様からお預かりをしたお一人おひとりのお穢れを、お被いの後、茅の輪をくぐって黄泉の国に流しました。全員が8の字に輪をくぐった後、輪から茅を引く思ひ、茅の輪を作った。茅の輪は玄閼や自家用車、カバや防いでくれることでした。穢れや災いを



今年はお抹茶の接待も再開し、紅色の毛氈を掛け、縁台は大勢の方には、菓子とお抹茶を楽しんでいただきました。

ご奉仕感謝いたします

暑い夏、たくさんの方々のご奉仕を頂いて、夏の行事が無事に終わりました。総代さん方には花火大会駐車場の原の草刈りや茅の敬神婦人会の方には境内の掃除や祭りの準備など、皆様のおかげです。



敬神婦人会の方には境内の掃除や祭りの準備など、皆様のおかげです。



秋祭りの準備が始まりました

四年振りの三面・山車・子ども神輿に向けて準備が進められていきます。一番字の賢区は八月十九日に決起会を開催し、すでに練習に汗を流していただきます。子どもも現在の太鼓も今年も明けから放課後の練習が始まりました。九月十八日には馬寄せ（芸能保存会の打ち合わせ会）が神社で行われます。課題も不安もたくさんありますが、皆さん方の知恵と熱意で神賑行事を無事に執り行うことができそうです。どうかよろしくお願いいたします。



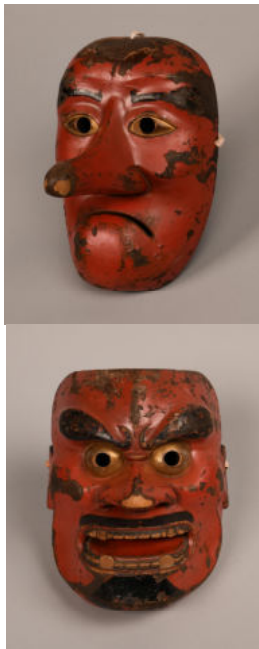
田殿の三面・獅子舞



田殿丹生神社の獅子舞は獅子・オニ・ワニの三面の面があることから三面と呼び方はいます。この呼び方は有田、日高地方独特の呼称です。獅子はお渡りの道中を被い御輿を先導し、オニ・ワニは御輿を警護します。道中、芸を披露しますが四人立ちの獅子で笛太鼓の

入らない静かな芸も有田地方の独特のもの。獅子は悪や穢れを食らうといわれ人の頭を噛んだり、玄關で歯噛みをして被い清める善役です。が、演技では何故かオニ・ワニに抑え込まれる悪役になります。一見矛盾しますが、獅子とオニ・ワニがそのパワーを持つ獅子オニ・ワニがそのパワーを上手くコントロールしていると考えれば納得がいきます。そのよくなことを考えて三面を見ていただといす。田殿丹生神社の三面は年ごと一文字が異なる「頭屋獅子」で、詳細な歴史は不詳ですが、当社の古保管）が江戸時代のものであるとの

ことなので、約二〇〇年の（さらに古い面が存在していたならばもっと長い）歴史があると思われず。もちろんその歴史を刻んでくださったのは氏子の皆様です。ご先祖から預かった大切な文化を、待つてくれたい。次の世代につなぐのは非常に大変なことではありますが、どうかよろしくお願いいたします。



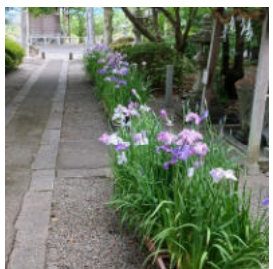
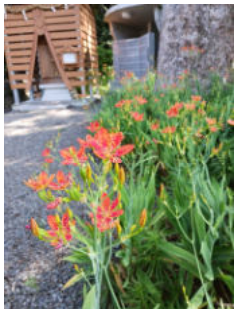
神社庁有田支部功績表彰

森 勲様 岩倉裕己様

八月十九日、令和五年度有田郡市神社総代会が鮎茶屋にて開催されました。その中で神社庁有田支部功績表彰が行われ、田殿丹生神社からは毎日欠かさず境内の清掃奉仕を続けてくださった責任役員森 勲様と御様が表彰を受けました。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。受賞おめでとうございます。

お陰様で一〇〇号

平成十三年八月、輪越しのご報告をさせていただきます。いたのが社頭掲示のみの「夏瀬の森」だより「第一号」で目のお手も煩わしながらも、また区長様の一〇〇号を迎えられ、二十二年



域の氏神様というところを深く意識し、知ら、これからもお知ませを届けたく思います。迷惑ない時もあるかと思いませんがよろしくお願

ホームページへもお越し下さい

<http://www.w7b.biglobe.ne.jp/~tadononyujinyai/>